

■横溝正史 小説家。江戸川乱歩の後継者として、金田一耕助シリーズで戦後の探偵小説を振興、中心的存在になった。

よこみぞせいし
教科書疑獄・1902＝ 神戸市兵庫東川崎町(中央区)で菓種商の三男に生まれた。

日露戦争終・1905＝ 3歳：

韓国反日暴動1907＝ 5歳：母が死去し、
アヲヲ 創刊・1908＝ 6歳：父が後妻を迎え、のち異母弟妹ができる。
伊藤博文暗殺1909＝ 7歳：東川崎尋常小学校に入学、

大逆事件判決1911＝ 9歳：
明治天皇没・1912＝10歳：
_日本語に翻案されたヨーロッパの推理小説などに熱中するようになり、

21ヶ条要求・1915＝13歳：神戸二中に入学、
_探偵小説を好む同級生西田徳重と親友になって、原書や雑誌を渉猟するようになる。

大暴落・・・1920＝18歳：卒業して、第一銀行神戸支店に勤務したが、_西田の急逝でその兄と交友するようになり、進路変更、
原敬首相暗殺1921＝19歳：退職して、_大阪薬学専門学校に入学。懸賞小説に応募して1等になる。

護憲三派圧勝1924＝22歳：_首席で卒業し、家業の菓種商に従事。
治安維持法・1925＝23歳：_初めて江戸川乱歩に会い、西田の兄と{探偵趣味の会}を設立。
円本時代始・1926＝24歳：_短編集「広告人形」を出版し、乱歩に招かれて上京。博文館に入社、
金融恐慌・・・1927＝25歳：結婚。_{{新青年}の編集長、
共産党事件・1928＝26歳：長女誕生。_{{文芸倶楽部}の編集長、
世界恐慌・・・1929＝27歳：父が死去。
海軍軍縮条約1930＝28歳：「芙蓉屋敷の秘密」連載。
満州事変・・・1931＝29歳：_新雑誌{探偵小説}の編集長、
五一五事件・1932＝30歳：_初の書き下ろし「呪いの塔」刊行。退職して作家生活に入る。
国際連盟脱退1933＝31歳：_結核を発病、療養生活に入る。

芥川直木賞始1935＝33歳：*病後、再起をかけて「鬼火」を発表、検閲で一部削除となるものの、初期浪漫時代の代表作となる。
_以後、旺盛な執筆活動に入り、

日中戦争始・1937＝35歳：
健保+総動員 1938＝36歳：
第二次大戦始1939＝37歳：_「人形佐七捕物帳」など、次々と連載するが、

日米開戦・・・1941＝39歳：_<日米開戦>とともに、探偵小説への弾圧も厳しくなり、捕物帳で糊口をしのぐ。

敗戦・・・1945＝43歳：_岡山県吉備郡に疎開した折の見聞をがもとになって、<敗戦>後、
新憲法公布・1946＝44歳：*「本陣殺人事件」で、名探偵金田一耕助シリーズがスタート、戦後の探偵小説振興の原動力となる。
新憲法施行・1947＝45歳：
極東裁判決・1948＝46歳：疎開先から東京に戻る。_第1回探偵作家クラブ長編賞を受賞。翌年にかけて「獄門島」連載し、
三大事件・・・1949＝47歳：_映画化される。
朝鮮戦争始・1950＝48歳：_「八つ墓村」はじめ、
独立回復・・・1951＝49歳：
_村落社会の古い因襲の中で起きる怪事件を名探偵金田一耕助が解決する物語を次々と連載・刊行し、

国連加盟・・・1956＝54歳：

インスタントラーメン・1958＝56歳：_「金田一耕助推理全集」(全15巻)刊行、
美智子妃・・・1959＝57歳：「悪魔の手毬唄」など、_本格的推理長編を相ついで発表し、戦後推理小説界の中心的存在となった。
安保闘争・・・1960＝58歳：「続金田一耕助推理全集」(全10巻)刊行、
_以後、長期連載が多くなり、完結すると単行本として刊行、

大学紛争始・1965＝63歳：「横溝正史傑作選集」(全8巻)・「人形佐七捕物帳シリーズ」(全10巻)刊行、

霞ヶ関ビル・1968＝66歳：「新編人形佐七捕物帳文庫」(全10巻)、

大阪万博・・・1970＝68歳：「横溝正史全集」(全10巻)、
ドルショック・・・1971＝69歳：「定本人形佐七捕物帳全集」(全8巻)、
日中国交回復1972＝70歳：古希記念に「探偵小説五十年」刊行、
石油ショック1973＝71歳：
角栄金脈辞任1974＝72歳：*「新版横溝正史全集」の第1回配本として書下ろし長編「仮面舞踏会」刊行、探偵小説再評価の気運高まる。

田中角栄逮捕1976＝74歳：勲三等瑞宝章。_映画「犬神家の一族」封切り、
_以後、作品が次々と映画化される間、

革新大敗北・1979＝77歳：_なお、長期連載「悪霊島」を連載して、世間を驚かせたが、
・・・・・・1981＝79歳：_結腸癌のため、没した。

「この人どんな人」、山田風太郎「人間臨終図巻」、インターネット、